

# 学部・学科別 時間割作成時の注意事項

【重要】各自の入学年度の『履修要綱』の記載内容と照らし合わせて、履修してください。

## I. 各学部・学科の専門教育科目に関する注意事項

### 法学部

カリキュラム変更に伴い、入学年度によって、授業科目・開講学年・開講時期・単位数等が異なることがあります。履修登録の際には、各自の入学年度の『履修要綱』を熟読したうえで、誤りのないように登録を行ってください。なお、法学部専門教育科目では、クラス指定もしくは事前登録としている科目が多くあります。指定されている科目を履修する場合は、時間割の指示に従って、登録してください。

#### 〔全専攻共通〕

##### 1. キャンパスについて

法学部の専門教育科目はすべて渋谷キャンパスで開講されています。

##### 2. 検定・資格試験における単位認定について

以下の検定・資格試験に合格した学生で、「法律学特殊講義」・「政治学特殊講義」としての単位認定を希望する3・4年生は、合格証書を持参のうえ、前期履修登録期間内または後期履修登録期間内に教務課窓口へ申し出てください（履修登録期間外での申請による単位認定は一切認めません）。なお、認定単位数について、平成21年度以前の入学者は、年次別履修制限単位のうちに含まれます。

「法学検定試験ベーシック〈基礎〉コース合格」→「法律学特殊講義(法学検定基礎)」

「法学検定試験スタンダード〈中級〉コース合格」→「法律学特殊講義(法学検定中級)」

「法学検定試験アドバンスト〈上級〉コース合格」→「法律学特殊講義(法学検定上級)」

(なお、旧2級・旧3級・旧4級合格も、それぞれ上級コース・中級コース・基礎コース合格に準じて扱います。)

「行政書士試験」→「法律学特殊講義(行政書士)」(平成23年度以降入学者)

「3級知的財産管理技能検定」→「法律学特殊講義(3級知的財産管理技能検定)」(平成23年度以降入学者)

「ビジネス実務法務検定試験 3級」→「法律学特殊講義(3級ビジネス実務法務検定)」(平成23年度以降入学者)

「ビジネス実務法務検定試験 2級」→「法律学特殊講義(2級ビジネス実務法務検定)」(平成23年度以降入学者)

「宅地建物取引士資格試験」→「法律学特殊講義(宅地建物取引士資格)」(平成23年度以降入学者)

「国会議員政策担当秘書資格試験」→「政治学特殊講義(国会議員政策担当秘書資格)」(平成23年度以降入学者)

##### 3. 法学部生対象外科目

以下の科目は、法学部の学生は履修することができません。

「社会学B」(たま・木4・後期・牧野修也)

##### 4. 入門科目(平成29年度入学者)

以下の科目は、3年次以降には履修できません。

「国際政治入門」/「政治哲学入門」/「比較政治入門」/「地域研究入門」/「比較法入門」/「犯罪学入門」

#### 〔法律学科法律専攻〕

##### 1. 半期集中科目

以下の科目は前期集中または後期集中の科目であり、週2時限にわたり講義を行うので、必ず①と②の組み合わせで両方の時限を受講してください。K-SMAPYで登録する場合には①の曜日・時限を選択してください(②の曜日・時限の登録番号は、この『時間割表』では[XXXX]と表記してあります。登録確定をした場合、②の科目は自動的に登録されます)。

「民法・総則」(①月3/②水2 前期集中・姫野学郎) ※クラス指定あり(1年1~4組、2年次以上履修不可)

(①月3/②水1 前期集中・大澤慎太郎) ※クラス指定あり(1年5~8組、2年次以上履修不可)

「民法・債権各論」(①月3/②水2 後期集中・川村尚子) ※クラス指定あり(1年1~4組、2年次以上履修不可)

(①月3/②水1 後期集中・姫野学郎) ※クラス指定あり(1年5~8組、2年次以上履修不可)

##### 2. クラス指定科目

「キャリア・プランニング」(火1前期・金2前期・金3前期)はクラス指定の登録必須科目のため、すでに登録されています。各自、『指定科目一覧』(P41参照)とK-SMAPYで確認し、所定の曜日・時限・担当教員のクラスで履修してください。

い(ただし、留学生と社会人入学者については登録必須科目でなく選択科目となっていますので、受講を希望する場合は、各自で登録してください)。なお、「キャリア・プランニング」は2年次以降には履修できません。

### 3. 事前登録科目

- 履修者調整のため事前登録を行う科目があります。該当科目については、大学ホームページ内(在学生・保護者の方へ)→授業・履修→履修登録・時間割の「事前登録科目一覧」にて確認してください。
- 「基礎演習」(火2後期・木3後期・木5後期・金2後期・金3後期)については、前期中に事前登録が行われ、履修するクラスが決まります。事前登録の日時・方法など詳しいことについては、前期中に掲示等を通じてお知らせします。
- 「判例演習」(月2前期・火2前期・水4前期・木4前期・金3前期)については、第1次募集の選考に合格したものは、本登録の際に登録する必要はありません。定員に満たない場合には、第2次募集をすることがあります。第2次募集を行う場合の詳細については、開講前に掲示等にてお知らせします。
- 「演習」の履修  
「演習」は、第1次募集・第2次募集の選考に合格した者は、本登録の際に登録する必要はありません。  
「演習」未決定で履修を希望する場合には、第3次募集に応募し選考に合格することが条件となります。この第3次募集で合格した場合も、本登録の際に登録する必要はありません。  
第3次募集 応募期間 3月31日(金)～4月3日(月) 12:50 / 応募方法 法学部資料室へ所定用紙を提出  
選考期間 4月4日(火)・5日(水) / 合否発表 4月6日(木) 20:00 K-SMAPYにて

### 4. 履修の曜日・時限を指定する科目

- 以下の科目を受講する場合は、下記の曜日・時限のみ受講可とします。  
「日本政治史A」(金1・前期・坂本一登) / 「日本政治史B」(金1・後期・坂本一登)
- 以下の科目を2年生以上が受講する場合は、下記の曜日・時限のみ受講可とします。  
「民法・総則」(木6・通年・川村尚子) / 「民法・債権各論」(月6・通年・田中謙一)
- 以下の科目を3年生以上が受講する場合は、下記の曜日・時限のみ受講可とします。  
「民法・債権総論」(月5・通年・遠藤研一郎)
- 以下の科目を受講する場合は、下記の曜日・時限のみ受講可とします。  
「日本の政治A」(金6・前期・米山忠寛) / 「日本の政治B」(金6・後期・米山忠寛)

### 5. 履修年次の制限

「基礎演習」は2年次以降には履修できません。また、「裁判法A・B」「判例演習」は3年次以降には履修できません。

### 6. 系統履修科目の受講

下記の左の欄にある科目は、系統履修を行っています。下記の右の欄にある前提科目の単位を修得した場合にしか左の欄にある系統履修科目に登録することができませんので、注意してください。

系統履修科目	前提科目
法律学特殊講義(刑事訴訟法2)	刑事訴訟法

その他の系統履修科目については、各自の入学年度の『履修要綱』を確認してください。

## 〔法律学科法律専門職専攻〕

### 1. 科目名に関する注意

時間割表において科目名の前に「(専)」とついているのが、法律専門職専攻用の授業です。同じ科目名でも「(専)」とついている科目がある場合には、その曜日・時限で履修してください。

### 2. 半期集中科目

以下の科目は前期集中または後期集中の科目であり、週2時限にわたり講義を行うので、必ず①と②の組み合わせで両方の時限を受講してください。K-SMAPYで登録する場合には①の曜日・時限を選択してください(②の曜日・時限の登録番号は、この『時間割表』では[XXXX]と表記してあります。登録確定をした場合、②の科目は自動的に登録されません)。

- 「(専)民法・総則」(①月3/②月4 前期集中 川村尚子)
- 「(専)民法・物権」(①月1/②月2 前期集中 一木孝之)
- 「(専)民法・債権総論」(①金1/②金2 後期集中 吉井啓子)
- 「(専)民法・債権各論」(①月3/②月4 後期集中 一木孝之)
- 「(専)刑法総論」(①月1/②水2 後期集中 関哲夫)

### 3. 指定科目

以下の科目については、登録必須科目であるため、すでに登録されています。各自、K-SMAPYで確認し、所定の曜日・時限で履修してください。なお、「(専)基礎演習」「(専)刑事手続法概論」「(専)民事手続法概論」は2年次以降には履修できません。

「(専)基礎演習」(木4・前期) ※クラス指定あり。

各自『指定科目一覧』（P41 参照）と K-SMAPY で確認してください。

「(専) 刑事手続法概論」(木 4・後期・安田恵美)

「(専) 民事手続法概論」(金 4・後期・佐古田真紀子)

#### 4. 事前登録科目

1) 履修者調整のため事前登録を行う科目があります。該当科目については、大学ホームページ内（在学生・保護者の方へ→授業・履修→履修登録・時間割）の「事前登録科目一覧」にて確認してください。

2) 「(専)判例演習」(月 5・後期)については、前期中に事前登録が行われ、履修するクラスが決まります。事前登録の日時・方法など詳しいことについては、前期中に掲示等を通じてお知らせします。また、「(専)判例演習」は3年次以降には履修できません。

#### 3) 演習科目の履修

演習科目については、1つ目の履修につき、前年度3月にすでに事前登録が行われており、本登録の際に登録する必要はありません。

演習科目について2つ目の履修を希望する場合には、第Ⅱ期募集に応募し選考に合格することが条件となります。この第Ⅱ期募集で合格した場合も、本登録の際に登録する必要はありません。

第Ⅱ期募集 応募期間 3月15日(水)～3月27日(月) 12:50 /応募方法 K-SMAPY (アンケート機能)

選考期間 3月28日(火)～30日(木) /合否発表 4月1日(土) 20:00 K-SMAPYにて

#### 5. 系統履修科目の受講

下記の左の欄にある科目は、系統履修を行っています。下記の右の欄にある前提科目の単位を修得した場合にしか左の欄にある系統履修科目を登録することができませんので、注意してください。

系統履修科目	前提科目
法律学特殊講義 (刑事訴訟法2)	(専)刑事訴訟法

その他の系統履修科目については、各自の入学年度の『履修要綱』を確認してください。

### 〔法律学科政治専攻〕

#### 1. 半期集中科目

以下の科目は前期集中もしくは後期集中の科目であり、週2時限にわたり講義を行うので、必ず①と②の組み合わせで両方の時限を受講してください。K-SMAPY で登録する場合には①の曜日・時限を選択してください（②の曜日・時限の登録番号は、この『時間割表』では [XXXX] と表記してあります。登録確定をした場合、②の科目は自動的に登録されます）。

「民法・総則」(①月3/②水2 前期集中・姫野学郎)  
(①月3/②水1 前期集中・大澤慎太郎)

「民法・債権各論」(①月3/②水2 後期集中・川村尚子)  
(①月3/②水1 後期集中・姫野学郎)

#### 2. 指定科目

##### 1) 「現代社会論」・「現代の政治」・「政治学」

「現代社会論」(金2・前期・小原薫)・「現代の政治」(金2・後期・稲垣浩)・「政治学(2)」(金1・前期・宮下大志)は、卒業するためには必ず履修し単位修得しなくてはならない科目ですので、すでに登録されています。各自、K-SMAPY で確認し、所定の曜日・時限で履修してください。

(ただし、再履修する場合には、各自 K-SMAPY で履修登録してください。)

##### 2) 「キャリア・プランニング」(平成29年度入学者)

「キャリア・プランニング」(金3・前期)は履修登録必須科目のため、すでに登録されています。各自、K-SMAPY で確認し、所定の曜日・時限で履修してください。(ただし、留学生と社会人入学者については登録必須科目でなく、選択科目となっていますので、受講を希望する場合は、各自で登録してください。)なお、「キャリア・プランニング」は2年次以降には履修できません。

#### 3. クラス指定科目

「基礎演習A」(木2・前期)・「基礎演習B」(木2・後期)はクラス指定されており、すでに登録されています。各自、『指定科目一覧』と K-SMAPY で確認し、指定の教員が担当するクラスで履修してください。

#### 4. 事前登録科目

##### 1) 「演習Ⅰ・Ⅱ」の履修

「演習Ⅰ・Ⅱ」については、第Ⅰ期募集の選考に合格した者、及び第Ⅱ期の第1次募集・第2次募集の選考に合格した者は、本登録の際に登録する必要はありません。

「演習Ⅰ・Ⅱ」の第Ⅱ期分について、履修を希望する場合には、第Ⅱ期の第3次募集に応募し選考に合格することが条件となります。この第3次募集で合格した場合も、本登録の際に登録する必要はありません。

第3次募集 応募期間 3月31日(金)～4月3日(月)12:50 / 応募方法 法学部資料室へ所定用紙を提出  
選考期間 4月4日(火)・5日(水) / 合否発表 4月6日(木)20:00 K-SMAPYにて

## 2) 展開科目(実習)の履修

(平成23年度以降入学者)

「政治インターンシップ(長期)」と「政治インターンシップ(短期)」に関して、所定時間のインターンシップを終了して、平成29年度前期の履修登録を希望する学生は、コーディネーターの宮下大志先生に連絡を取って、**4月13日(木)17:00**までに「単位認定申請書」等必要書類を法学部資料室へ提出してください。

## 3) 「フィールドワーク(自治体政策の研究)」の履修

「フィールドワーク(自治体政策の研究)」については、前期中に事前登録が行われ、選考の上、履修が決定します。事前登録の日時・方法など詳しいことについては、前期中に掲示等にてお知らせします。

## 4) 「スタディ・ペーパー」の履修

「スタディ・ペーパー」については、前年度に履修登録に関する手続きを終了して、履修が確定している場合は、本登録の際に登録する必要はありません。新たに履修を希望する場合は、追加募集で履修の許可を受ける必要があります。追加募集で履修が認められた場合にも、登録する必要はありません。

追加募集期間 3月31日(金)～4月3日(月)16:00 / 応募方法 法学部資料室へ所定用紙を提出

## 5) 履修者調整のため事前登録を行う科目があります。該当科目については、大学ホームページ内(在学生・保護者の方へ)授業・履修→履修登録・時間割の「事前登録科目一覧」にて確認してください。

## 5. 履修の曜日・時限を指定する科目

- 以下の科目を受講する場合は、下記の曜日・時限のみ受講可とします。  
「日本政治史A」(月2・前期・坂本一登)・「日本政治史B」(月2・後期・坂本一登)
- 以下の科目を、2年生以上が受講する場合は、下記の曜日・時限のみ受講可とします。  
「民法・総則」(木6・通年・川村尚子) / 「民法・債権各論」(月6・通年・田中謙一)
- 以下の科目を、3年生以上が受講する場合は、下記の曜日・時限のみ受講可とします。  
「民法・債権総論」(月5・通年・遠藤研一郎)
- 以下の科目を、受講する場合は、下記の曜日・時限のみ受講可とします。  
「日本の政治A」(金4・前期・永森誠一) / 「日本の政治B」(金4・後期・永森誠一)

## 6. 系統履修科目の受講

下記の右の欄にある科目は、系統履修を行っています。下記の左の欄にある前提科目の単位を修得した場合にしか、右の欄にある系統履修科目を登録することができませんので、注意してください。

系統履修科目	前提科目
法学学特殊講義(刑事訴訟法2)	刑事訴訟法

その他の系統履修科目については、各自の入学年度の『履修要綱』を確認してください。

## 7. 履修規程の変更

(平成24年度入学者)

カリキュラム改定に伴い、「フィールドワーク」は1～4年次開講に変更となりました。

(平成22年度以前入学者)

カリキュラム改定に伴い、「インターンシップ」は1～4年次開講に変更となりました。

(平成23年度入学者)

カリキュラム改定に伴い、下記の通り平成23年度入学者に遡及して履修要綱の規程変更を行っています。

### 【科目名称変更】

新「政治インターンシップ(長期)」 ⇐ 旧「インターンシップ」

新「政治インターンシップ(短期)」 ⇐ 旧「フィールドワーク(短期実務実習)」

(平成25年度以前入学者)

カリキュラム改定に伴い、下記のとおり平成25年度以前入学者に遡及して履修要綱の規程変更を行っています。以下の科目に関しては、科目名の後の括弧内のテーマが異なれば、複数履修することが可能です。

### 【科目名称変更】

新「オムニバスセミナー」 ⇐ 旧「オムニバスセミナーⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」